

会議の概要(議事録)

会議の名称	(番号) 3-08	平成29年度第6回すみだ環境共創区民会議		
開催日時	平成29年9月21日(木) 18時00分から20時00分まで			
開催場所	墨田区役所3階 31会議室			
出席者数	<p>【委員13人】 阿久沢委員、宇田川委員、笠貫委員、金子委員、 小木曾委員、佐野委員、佐原委員、清水委員、田辺委員、 橋本委員、森下委員、安田委員、吉田委員</p> <p>【事務局3人】 環境担当参事、環境管理担当主査及び職員</p>			
会議の公開 (傍聴)	公開(傍聴できる)	傍聴者数	0名	
議 題	第二次すみだ環境の共創プラン進捗状況評価について			
配付資料	第二次すみだ環境の共創プラン進捗状況評価結果一覧			
会議概要	<p>1. 第二次すみだ環境の共創プラン進捗状況評価について 第二次すみだ環境の共創プランについての平成27年度の進捗状況を報告し、各委員から意見を聴取した。</p> <p>2. 意見交換等における主な意見 (: 委員発言 : 事務局発言)</p> <p style="text-align: center;">進捗状況評価 重点プロジェクト1について</p> <p>数値だけを見ると、順調に温室効果ガスの排出量は削減できていると思うが、評価をBにした理由は何か。 現状のままの削減率では中間・最終目標の数値を達成できそうにないので、B評価とした。 目標値を3.0ではなく3.1というキリがよくない数字にしたのはなぜか。</p> <p>第二次すみだ環境の共創プランの冊子の33ページではエネルギー消費量について、「平成42年度までに温室効果ガスを30%削減、エネルギー使用量を38%削減」という国際協約で決められた目標に沿った数値の記載があり、そこから目標数値を逆算すると、3.1tという数値が出たためである。</p> <p>3.1t-CO2という数値はなかなかイメージができない。東京電力で</p>			

は昔、風船何個分と出していたと思うが、すみだまつりでは区民会議や環境問題を理解してもらうことを目的とするとしたが、他の委員の皆さんはイメージができるだろうか。

3.1tという数値がなかなか実感できないという意見が出たので、具体的にイメージできるような記載ができるように検討する。

産業部門の温室効果ガス排出量は減っているが、墨田区の工業出荷額等の景気の指数を考慮しないと、企業が努力して値が減ったのか、業績が悪くなって生産が落ちて値が減ったのか分からない。

確かに景気の変動もあると思うし、企業が努力したというものもあるだろうが、どちらがどのくらい寄与しているかは分からない。

区民会議では昔、各委員の家庭の電気やガス・水道の使用量をチェックするという活動をしてきたが、使用量を意識するだけで1割くらいは減っていた。それ以上の削減をする場合は、機器の買い替えなどの投資も必要だと思う。

プランでは温室効果ガス削減の普及啓発をしていくということだが、何をしていく予定なのか。

環境フェア・すみだまつり等のイベント、区のお知らせやホームページ等で啓発を強化していく。

事業者向けの助成制度の啓発等は実施していないのか。

助成制度の中では特に事業者向けという点では啓発は実施していない。

緑被率の問題であれば、緑が増えた/減ったというのは分かりやすいが、二酸化炭素は目に見えないので、どうしても実感が湧かない。

重点プロジェクト1については、イメージがしにくい分野であるので、区民目線で分かりやすい内容で説明できるようにしていかないといけないと思う。

プランの68ページにはどんなことを実施するとどれだけCO2排出量が減るかが記載されているので、すみだまつりではそういったことをPRできればいいと思う。

重点プロジェクト2について

全ての重点プロジェクトについて言えるが、果たして活動指標は正しいのだろうかという疑問がある。今後10年間はこの指標を使って評価をすると思うが、その間に世の中は大きく変化をするだろう。

先日、海外の団体が墨田区の路地園芸について視察をしたとの話を聞いた。墨田区のささやかな緑は素晴らしいと評価してくれている人がいることは嬉しいことである。数値やABCの評価も大切かもしれないが、区民が楽しんで路地園芸をして植物に親しんでいれば、それはそ

れで良いことである。その視察では、誰でも自分の家の前や庭先に植物が育てられ、その緑が近所とのコミュニケーションツールになっている点が素晴らしいと評価していた。今回は韓国や台湾の視察だったが、そういった国の都市部では家の前に緑を育てる習慣がなく、近所でも会話が少ない。緑があいさつを育むのだと言っていた。

先日、オリンピック協議会の結団式に出席してきたが、我々は環境分野で世界に何かを発信していく必要があると思う。我々は普段意識していないが、そういった路地園芸の活動が評価されているということであれば、区民のみならず、オリンピックを契機に海外の方にも発信できるとよい。

私が区民会議の会長をやっていた7～8年前にも、海外の団体が杉並区のフラワー通りを見に来たという新聞記事を紹介させていただいた。それはもともと墨田区で実施していたものであるが、路地裏ガーデンを実施すると、空き巣が少なくなるという話は前からあったと記憶している。

最近では環境保全課の職員とボランティアのおかげで、タワー回りなどで、まちなかに花がいっぱいあふれていると思う。墨田区は緑被率がワースト1位、2位だという話が先行してしまうが、あまり緑被率の数値だけにとらわれないよう、感性を変えていかなければいけないと思う。

指標で示されているまちなか緑化の活動地域を平成32年度までに5地域増やすということだが、どのあたりに増設するのか。

これは地元住民の了解が必要なので、手を挙げてもらえる団体を募集している形になる。なお、今年度1地域が新たに指定された。

これは、新規でない緑化活動地域に指定されないのか。指定されなくても植物を育てている町会や団体はいくつかあると思うが。

そういった団体と協力して緑地の再整備ができるかどうかについては検討したい。

新たにまちなか緑化地域として指定するというのであれば、行政に指定されることによって、地元住民の今までの緑化活動が制限されないよう配慮してもらいたい。

重点プロジェクト3について

区民としては清掃コンシェルジュのような人がいると嬉しい。実家の片付けや遺品整理など、大量のごみが出る場合にどのように処理したら良いか、清掃事務所の人が家に来て、できるだけ安く処理する方法を教えてくれるような制度があると良いと思う。

ごみの問題についてはどのように処理するか・リサイクルするかを論じるよりも先に、不要なものを買わないようにするというのを一番に啓

発していただきたいと思う。

重点プロジェクト4について

墨田区では今どれほど遮熱舗装が実施されているのか。それはどれほど効果があるものなのか。

多くは、通学路の一部で実施している。その他にも、浅草通りや四ツ目通りで実施していると記憶している。具体的にどれほどの効果があるというのは説明が難しいが、ヒートアイランド対策の一環として実施しているので、効果はあるものだと考える。

温度計を区内各所に実施して、今何度であるかを実感できると、ヒートアイランドの啓発になるのではないか。

ヒートアイランド対策で緑のカーテンを指標にするというのは、目的と指標がずれていると思う。

ヒートアイランド対策のために、雨水でも何でもいいから散水施設を付けるよう、制度付けをすればよいのではないか。

時間の関係で本日はここまでになってしまうが、本日発言できなかったことや後日気づいたことがあれば、9月28日事務局に連絡をお願いしたい。

所 管 課	都市整備部 環境担当 環境保全課 環境管理担当 内線 5463
-------	---------------------------------